

血は母より、骨は父より受け継ぐ

原作：^{ヤン・ソギル}梁石日／監督：崔洋一／主演：ビートたけし、鈴木京香

血と骨

ビートたけし・新井浩文 田畑智子・オダギリジョー・松重豊 中村優子 唯野未歩子 濱田マリ 塩見三省 柏原収史 伊藤淳史 北村一輝 國村隼・鈴木京香
監督：崔洋一／原作：梁石日「血と骨」(幻冬舎文庫刊)／脚本：崔洋一、鄭義信／企画・製作：若杉正明／プロデューサー：榎望／撮影：浜田毅／美術：磯見俊裕／照明：高屋齋／録音：武進
編集：奥原好幸／衣装デザイン：小川久美子／音楽プロデューサー：佐々木次彦／アソシエイトプロデューサー：中嶋竹彦／ラインプロデューサー：氏家英樹／キャスティング：原克子
製作：「血と骨」製作委員会(ビーワイルド、アーティストフィルム、東芝エンタテインメント、衛星劇場、朝日放送、ザナドゥー)／制作プロダクション：ビーワイルド／配給：松竹、ザナドゥー



原作・梁石日×監督・崔洋一×主演・ビートたけし、鈴木京香
 “怪物”と呼ばれた男の鮮烈にして壮絶な生き様
 一大センセーションを巻き起こした
 ベストセラー小説「血と骨」待望の映画化！



1923年。一旗揚げのことを夢見て祖国を後にし、済州島から大阪に渡ってきた金俊平。そこで彼を待っていたものは、差別と劣悪な労働条件だった。腕のいい蒲鉾職人でもあった俊平は、やがて自分の蒲鉾工場を立ち上げて成功する。しかし金銭へのあまりの執着から、やがて高利貸しへと転じる。何度も直面するままならない境遇を、強靱な肉体とずる賢さでたくましく生き抜く俊平。しかしその並外れた凶暴さと強欲さは、周囲の人間たちを巻き込み、数奇な運命へと導いていく。生涯誰にも心を開かず、凄まじいまでの孤独の中で生きた男が本当に望んだものは、何よりも家族という名の“血の絆”だった…。

第11回山本周五郎賞を受賞し、驚愕をもって迎えられた梁石日の最高傑作「血と骨」が、崔洋一監督の手によりついに映画化！

己の肉体のみを信じ、徹底した自己中心主義者の俊平と息子・正雄との壮絶な対立と葛藤。そして夫の呪縛の中で子供を守り、凜として生きる女・英姫の波乱に満ちた一生。戦中、戦後の時代のうねりに翻弄され続けた人々のありのままの姿がユーモラスかつ神話の豊饒をもって活写される。

構想6年。この骨太な一大叙事詩に、共同脚本の鄭義信（『月はどっちに出ている』『刑務所の中』）を迎え、崔洋一監督が滴を持して放つ。

キャストには、俳優に専念しての映画主演は14年ぶりとなるビートたけし、英姫役に鈴木京香というこれ以上ない配役の上、新井浩文、田畑智子、オダギリジョー、松重豊ら実力派俳優も加わった。この秋一番の話題作となることは間違いない。



ビートたけし・新井浩文 田畑智子・オダギリジョー・松重豊 中村優子 唯野未歩子 濱田マリ 塩見三省 柏原収史 伊藤淳史 北村一輝 國村隼・鈴木京香
 監督：崔洋一／原作：梁石日「血と骨」(幻冬舎文庫刊)／脚本：崔洋一、鄭義信／企画・製作：若杉正明／プロデューサー：榎望／撮影：浜田毅／美術：磯見俊裕／照明：高屋敷／録音：武進
 編集：奥原好幸／衣装デザイン：小川久美子／音楽プロデューサー：佐々木次彦／アソシエイトプロデューサー：中嶋竹彦／ラインプロデューサー：氏家英樹／キャストिंग：原克子
 製作：「血と骨」製作委員会（ビーワイルド、アーティストフィルム、東芝エンタテインメント、衛星劇場、朝日放送、ザナドゥー）／制作プロダクション：ビーワイルド／配給：松竹、ザナドゥー

2004年11月 全国ロードショー